



「対話」と「寄り添い」

2022年度クロージングフェスタ



（１）講演と対談 「ミュージアムの価値をどう創造するか ー経営における『対話』と『理解』ー」

プラス・ミュージアム・プログラムは2022年度において、座学を中心にさまざまな内容でプログラム展開してきましたが、共通するテーマは、ことばによる他者との「対話」とチーム・組織における「合意」形成の重要性でした。今回の講演と対談では、経営学におけるマーケティングやブランディングでご専門の石井淳蔵氏、評価学において協働型評価を活用してプロジェクトの改善を促してきた源由理子氏からのご講演を受けて、ミュージアムを含むさまざまな組織や地域社会における対話と理解のあり方を考えます。

日時／ 2023年2月11日(土)13:00～15:50

会場／北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟W103教室
※zoomを用いたオンライン配信を併用

プログラム／ 13:00 ～ 13:15 主催者挨拶、趣旨説明
13:15 ～ 14:40 講演
14:40 ～ 14:55 休憩
14:55 ～ 15:40 対談
15:40 ～ 15:50 主催者挨拶、今後のプログラムについてアナウンス

登壇者・講演タイトル／石井 淳蔵「地域ブランドは進化する」
経営学者。専門はマーケティング、ブランド論など。
神戸大学名誉教授、流通科学大学名誉教授 商学博士。
著書に、『マーケティングの神話』（岩波現代文庫）、『ブランド 価値の創造』（岩波新書）、
『ビジネス・インサイト 創造の知とは何か』（岩波新書）、
『進化するブランド-オートバイエーションと中動態の世界』（碩学舎）ほか多数。

源 由理子「評価における対話と共創のマネジメント」
評価学者 専門は、政策評価、プログラム評価、協働／参加型評価、社会関係資本
明治大学副学長・専門職大学院ガバナンス研究科教授 博士(学術)。
著書に、『参加型評価 改善と変革のための評価の実践』（編著）（晃洋書房）、
『実践家参画型エンパワメント評価の理論と方法』（共編著）（日本評論社）、
『プログラム評価ハンドブック』（編著）（晃洋書房）ほか多数。

参加者のべ96名(オンライン配信、事後配信視聴者を含む)



（２）情報交換会 「地域とともにあるミュージアムのあり方を考える」

プラス・ミュージアム・プログラムでは、本事業を通して北海道内のミュージアムの現状と最新事例を全国的に発信し、博物館関係者と共に考えるための足掛かりになると考え、2023年1月から2月にかけて北海道内各地のミュージアム関係者を対象にインタビューを実施しています。そこで、地域の諸機関や住民と連携しながらミュージアムの新たな価値を創り出そうとしている北海道内の先進的な事例について学びあうために、情報交換会を開催しました。さまざまな地域や館種のミュージアム関係者が集まるこの機会を通じて、各館が向き合う地域課題の特殊性や共通点を整理し、今後の議論に資する土台を共有することがここでの目的です。なお、この情報交換会での成果は、次年度以降に本事業で扱うべき課題を洗い出すためにも活用することを想定しています。

日時／ 2023年2月12日(日)13:00～16:00

会場／ 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟W202教室
※対面形式のみ。オブザーバーでの参加可能。

コーディネーター／卓 彦伶(北海道大学大学院文学研究院特任准教授)
参加者のべ18名

